

5. 改修用 B L 認定手すり工事のフロー

1 事前調査 躯体診断

事前調査 <別途>	・竣工図書の確認 ・過去の改修記録などの調査
躯体診断 <別途>	アンカー引抜き強度試験 コア抜き圧縮強度試験 シュミットハンマー試験 ・モルタルの厚さ・ひび割れ・剥離 ・コンクリートのひび割れ・中性化 ・鉄筋位置・配筋・腐食 ・躯体幅 躯体診断調査票 コンクリート強度調査票

2 施工計画

設計 <別途・協力>	・支持方式、意匠タイプ、強度などの設定
施工前調査 <別途見積>	・躯体寸法の実測 ・既存手すり寸法の実測
生産設計 (施工図作例) <実施>	・製作寸法の設定 施工計画書・施工要領書・施工図 製品仕様書・製作要領書・廃棄物処理計画

3 製作 施工

発注者確認	↓OK
製作 <実施>	
足場架設 <別途>	
躯体補強工事 <別途>	施工要領書
撤去工事 <別途>	・既存手すり撤去 ・埋設鉄部撤去等
躯体補修工事 <別途>	・アンカー部ピン打ち ・樹脂注入 ・接着確認試験 接着試験成績書 ・モルタル補修 ・補修部仕上げ ・外壁塗装工事 ・防水工事
搬入 <実施>	
施工 <実施>	・取付用墨出し ・アンカー打ち ・アンカー強度確認試験 アンカー引抜き強度試験成績書<別途見積> ・アルミ手すり取付け ・清掃

4 検査・ 引渡し

自主検査 <別途>	自主検査表
完成検査 <別途>	完成検査表
足場撤去 <別途>	
廃棄物処理 <別途>	
引渡し <別途>	は5年間保管が必要です。

重要

アンカー引抜き強度試験(推奨) コア抜き圧縮強度試験



手すりを設定する最上階の3ヶ所行ないます。

「アンカー引抜き強度試験」又は「コンクリート圧縮強度」・躯体幅・モルタルの厚さにより、手すり幅の最大寸法が決まるため、躯体診断が重要です。

建物の躯体が、手すりを取り付けられる状態であるかどうか調べ、取り付けられない場合は、補修をする必要があります。(詳細はp5を参照下さい。)

躯体診断の結果をもとに、支持方式・手すり幅・強度等を設計致します。

躯体診断・施工前調査の結果をもとに、手すりの幅・位置を設定いたします。(詳細はp5を参照下さい。)

既存手すり撤去



躯体補修工事



アンカー強度確認試験



アルミ手すり取付け



1日に打設したアンカー数の5%かつ3本以上について所定荷重の引抜き強度試験を行います。

自主検査

